

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)志紀認定こども園建設工事	階数	地上2F
建設地	大阪府八尾市	構造	RC造
用途地域	第一種中高層地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	5地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年3月15日
敷地面積	4,645 m <sup>2</sup>	作成者	東畑建築事務所 井ノ本
建築面積	1,810 m <sup>2</sup>	確認日	2017年3月15日
延床面積	2,950 m <sup>2</sup>	確認者	東畑建築事務所 松田

本評価は、CASBEE「国内版」を  
適用して実施されたもので、外観評価を  
含むには対応していません。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 81%  
③上記+②以外の 81%  
④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.2)	Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.1)	Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 3.0)
音環境: 3.2, 温熱環境: 3.1, 光・視環境: 3.3, 空気質環境: 3.5	機能性: 3.1, 耐用性: 3.3, 対応性: 3.0	生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.5)	LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.5)	LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.2)
建物外皮の: 4.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.0, 効率的: 2.0	水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.7, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.7, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
街路沿い及び隣地境界に植栽を設け屋上緑化を一部行うなど、環境への寄与に配慮した計画としました。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 開口部遮音性能についてT-2を確保するなど、室内環境に配慮した計画としました。	<b>Q2 サービス性能</b> 予備スペースを設けるなど、設備更新の向上を図りました。
<b>Q2 サービス性能</b> 予備スペースを設けるなど、設備更新の向上を図りました。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 街路沿い及び屋上の一部を緑化し生物環境の創出に配慮した計画としました。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率機器を採用しました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材利用など資源保護に配慮した計画としました。
<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材利用など資源保護に配慮した計画としました。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐輪場、駐車場を確保するなど、敷地外環境に配慮した計画としました。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0098

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)志紀認定こども園建設工事					
	建設地	八尾市志紀町西二丁目1番5他					
	用途/区分	学校					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					<b>B+</b>	
	CO2削減					<b>4</b>	
	省エネ対策					<b>3</b>	
	みどり・ヒート アイランド対策					<b>3</b>	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

<b>【評価項目】</b>							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.7	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			2.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0		
<b>その他</b>							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							